

III 取組の成果と課題

1 取組みの成果

(1) 防災に関する学習の実施

① 湖東中学校区 5 校の実践協力校が防災教育年間指導計画を作成し、防災に関する授業、学校行事等に取組んできた。年間指導計画を作成することによって学校の実態に応じた 6 年間（中学校 3 年間）を見通した防災教育の系統性を明確にすることはできた。また、防災教育の視点を小学校、中学校で明確にして、学校教育全体の取組と関連づけ、効果的に取組む方法について研究を進めることができた。

湖東中学校 防災教育年間指導計画・防災教育と教科・領域との関連																
防災教育のねらい		7. 防災教育のねらいを達成していくための指導・評価指標														
1年		1. 防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標														
学科	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
1年	防災	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標
2年	防災	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標
3年	防災	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標	防災教育のねらいを達成するための指導・評価指標
実習等	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	

② 防災の視点を入れた教科学習等の工夫について研究することができた。理科、体育科、社会科、学活、道徳を中心に防災・減災の視点を入れた授業研究を実施した。児童生徒に実体験がない災害について、分かりやすいように学習内容を工夫することで、防災に関する学習に対しての意識も高まってきた。また、なにより授業に取組む教師の防災に対する認識が変わってきたことが一番の成果である。



6 年理科 「大地の作りと変化」 の授業で地震の液状化現象の実験をしている様子

③ 中学校区で取組むことによって、校区の小中学校合同の職員研修を実施するなど、防災教育の取組について情報交換ができた。お互いの取組を参考にしながら学習等を進めることができたことは、防災教育の推進に有効だった。

(2) 防災に関する指導法の開発・普及（避難訓練）

① 実施時期や実施内容が毎年同じであった避難訓練を、休憩時間中や登下校中などを想定し、災害の発生時間や場所に変化をもたせる工夫ができた。地震・津波の避難訓練を実施した学校では、1 回目の訓練は、短時間で津波が到達する想定での訓練、2 回目は到達するまでの時間があり、高台避難が可能で地域の住民とともに高台避難を行い、子

どもの受け渡しを行う想定での訓練を行った。このように様々に条件を変えながら避難訓練を実施することで、いざというときに児童生徒が自ら考え「主体的に行動できる力」が育成できると考える。児童生徒の防災面の知識や意識、行動面の意識が徐々に高まってきた。



地域との合同訓練で高台に避難している様子

- ② 消防署との連携による起震車での地震の揺れ体験や煙を安全にくぐる訓練、着衣泳など児童の体験活動を重視した学習を取り入れることによって、防災に対して児童・生徒の興味関心を持たすことができた。
- ③ 校外学習で避難訓練を行うことは児童生徒の避難に関する知識や技能を育てる方法として有効的であった。訓練には高出力のトランシーバーを複数用意して、避難経路の確保や子どもたちに適切な指示を与えることによって緊迫感を持った避難訓練が行われた。
- ④ 緊急地震速報受信機を賀露小学校に設置して、緊急地震速報を流しての避難訓練を実施した。最近は、スマートフォンからも緊急地震速報が流れるようになっており、子どもたちにとって緊急地震速報に反応した避難行動が取れる力をつけていかなければならない。設置した緊急地震速報受信機からは、いつでも緊急地震速報を校内に流すことができ、いろいろな時間帯に避難訓練を実施することができた。児童が周りの状況を判断して自分で避難行動をとる力につけるには有効な訓練であった。
- ⑤ 学校で作成し家庭配布した防災リーフレットに、保護者・児童で話し合った避難場所を記入させたり、児童の引き渡し訓練を実施したりするなど、学校、生徒、保護者が一緒になった取組みが実施できた。こうした、防災に関する親子の取組は家庭の防災意識を高めることにつながった。



⑥ 9月10日（鳥取市防災の日）に、湖東中校区5校で避難訓練を実施した。小学校3校は防災関係機関、地域との合同の総合訓練であった。関係機関、地域と合同の避難訓練は普段体験することのできない防災体験ができた。実際の場面を想定した消火活動・救助活動を見学したことで、より身近に避難行動を考えることができた。高学年は、消火ホースによる放水体験をしたり災害時の通信対応やライフライン復旧活動の展示説明を聴いたりして、地域の中での自分の行動を考えることができた。

(3) 学校防災アドバイザーの活用

今回の事業を進めるにあたり、教職経験者が学校防災アドバイザーであったため、避難訓練時の子どもの行動や教職員の動き等を熟知しており、各学校の避難訓練の問題に対して的確な指導をすることができた。特に防災に関する授業では、学校防災アドバイザー本人が授業をやってみせるなど、教職員と一緒に授業の工夫に取組むことができ、防災教育の推進に効果的であった。



2 今後の課題

- ① 防災教育の年間指導計画の作成からスタートした研究実践であったが、教員自らも防災に対する意識の向上や具体的な知識の面での発展が見られた。今後は、児童の発達段階に応じた危険を回避する能力と結びつけての体系化や、教科特別活動との横断的かつ総合的なつながりが持てるような取組など、作った指導計画をもとにして鳥取市内の学校へ広げていく。
- ② 学校防災アドバイザーの指導のもと、形式的だった避難訓練のやり方を、実施時間や避難経路を変えるなどの工夫をして取り組んだ。今後は、地域の消防署等との連携を図って緊迫感や臨場感をもたせ、あらゆる可能性を想定した訓練を実施していく必要がある。実施する時間にも限りがあるため、計画的をしっかりと立て実践的な内容の訓練を実施する。複数の機関や防災団体と一緒に訓練をすることで実践的な連携につなげていく。
- ③ 賀露小学校に緊急地震速報受信システムを設置し、緊急地震速報を使った地震・津波の避難訓練を行った。このシステムは避難訓練のために緊急地震速報をいつでも校内に流すことができるので、様々な時間に地震・津波の訓練を実施することができた。他の学校への設置は現在進んでおらず、受信システムを使わない緊急地震速報を使った避難訓練の工夫を開発していく。
- ④ 東日本大震災では、児童生徒の安全確認、避難行動への対応と、避難してきた避難住民への対応が重なり、教職員が混乱した例があった。実践協力校においても地域の防災団体と避難所の開設や運営等について十分な話し合いをもった学校がないことから、避難所運営等について地域の自主防災会との具体的な連携について取組む必要がある。防災コーディネーターや防災アドバイザーに指導・助言を受けながら、地域との連携を進めていきたい。

【鳥取市学校防災教育実践委員会】

【平成25年度】		【平成26年度】	
西田 良平	鳥取大学名誉教授	西田 良平	鳥取大学名誉教授
松田 政隆	湖山消防署予防係長	松田 政隆	湖山消防署予防係長
横山ひとみ	鳥取県教育委員会スポーツ健康課 防災教育コーディネーター	横山ひとみ	鳥取県防災教育アドバイザー
川本 郁夫	鳥取市危機管理課自主防災担当 防災コーディネーター	川本 郁夫	鳥取市危機管理課自主防災担当 防災コーディネーター
山下 敬史	湖東中学校校長	平井 光一	湖東中学校校長
北村 知憲	賀露小学校校長	北村 知憲	賀露小学校校長
福田 悅育	湖山小学校校長	福田 悅育	湖山小学校校長
護田 彰一	湖山西小学校校長	護田 彰一	湖山西小学校校長
豊福 聰	末恒小学校校長	豊福 聰	末恒小学校校長
田渕 聰	湖東中学校PTA会長	村田 寿文	湖東中学校PTA会長
佐貫 雅人	賀露小学校PTA会長	香川 卓己	賀露小学校PTA会長
山本 真司	湖山小学校PTA会長	山本 真司	湖山小学校PTA会長
松本美恵子	湖山西小学校PTA会長	松本美恵子	湖山西小学校PTA会長
竹本 義孝	末恒小学校PTA会長	森本 綾子	末恒小学校PTA会長
永井 清	賀露地区自主防災会会长	泡田 保	賀露地区自主防災会会长
村山 洋一	湖山地区自主防災会会长	村山 洋一	湖山地区自主防災会会长
渡辺 琢也	湖山西地区自主防災会会长	渡辺 琢也	湖山西地区自主防災会会长
竹本 芳宏	末恒地区自主防災会世話役	竹本 芳宏	末恒地区自主防災会世話役
事務局	鳥取市教育委員会学校教育課生徒指導係	事務局	鳥取市教育委員会学校教育課生徒指導係

【実践的防災教育総合支援事業実践協力校】

【小学校】

鳥取市立賀露小学校 校長 北村 知憲
鳥取市立湖山小学校 校長 福田 悅育
鳥取市立湖山西小学校 校長 護田 彰一
鳥取市立末恒小学校 校長 豊福 聰

【中学校】

鳥取市立湖東中学校 校長 平井 光一